



ALCpanels new spot

大阪の新名所に ALCパネルが採用されています

大阪に二つの新名所が出現します。その一つは大阪市阿倍野区で2014年春開業をめざして建設中の「あべのハルカス」。昨年8月に高さ300mに到達し、横浜ランドマークタ



あべのハルカス (大阪市阿倍野区)

ワーを抜いて高層ビル日本一となりました。もう一つがさきごろオープンした「グランフロント大阪」。JR大阪駅北側の貨物ヤード跡地の一部、約7万㎡を先行開発する巨大プロジェクトです。ともに、オフィス、ホテル、商業などの複合施設で、大阪の新しい顔になるのはまちがいありません。

この二つの新名所には防火区画の壁などにALCパネルが大量に使用されています。例えば「あべのハルカス」ではその数、約5万枚。これほどに信頼が寄せられるのは、単一の材料で多くの要求に応える性能を兼ね備えているからです。耐火、耐震、軽量、施工、すべての面で厳しい条件をクリアできるALCパネル。それが超高層ビルに多用される理由です。

「あべのハルカス」にはALC協会加盟のメーカー3社の製品が使用されています。実際の工事では、強風の場合は搬入中止になるなど超高層ビル特有の事情が重なって、納期、出荷の設定が一般の物件に比べてかなり難しいものとなりました。この6月には、ビル内の商業施設が先行オープン予定。3社のALCパネルにとっても記念すべきランドマーク的建築物がまた一つ増えました。



グランフロント大阪 (大阪市北区)

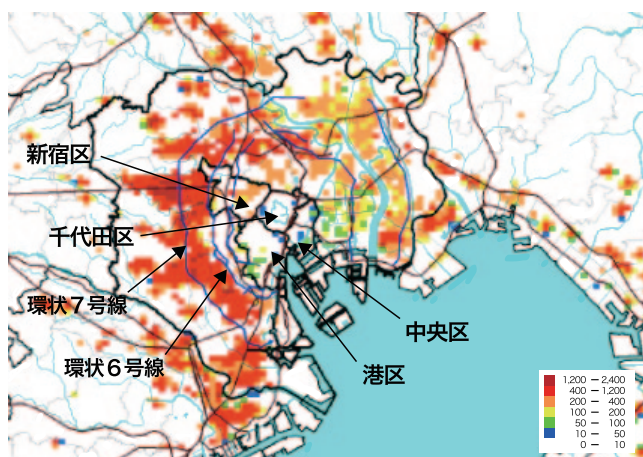
超高層ビルを支え続けるALCパネル

わが国の超高層ビルの歴史は、1964年の東京オリンピックを前に建築物の高さ規制が廃止されて始まりました。先駆けとなったのは高さ156mの霞が関ビルで、1968年の竣工から今年でちょうど45年になります。建築技術の進展はまさに日進月歩。ALCパネルはその歩みを支え、わが国の超高層ビルのほとんどすべてに採用された実績を築いています。今後ますますハイレベルなビルが登場してくるでしょうが、そこに貢献するALCパネルの役割は不変です。

ALCpanels 優れた耐火性

地震火災、減災の手だて

近い将来、巨大地震の発生が否定できないとされています。東京湾北部地震(M7.3)もそのひとつですが、下の図はこの地震による焼失棟数の分布を想定したものです。

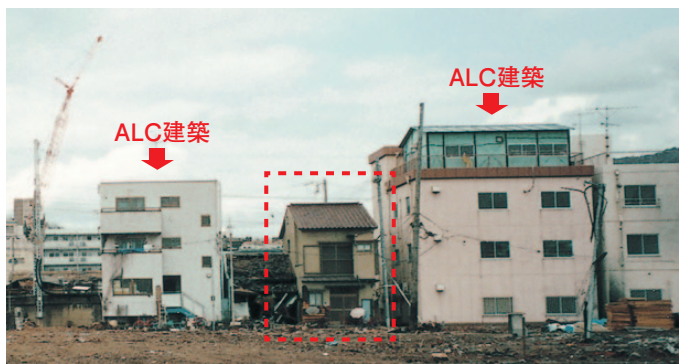


内閣府「首都直下地震の被害想定(概要)」より

これを見ると、都心部をドーナツ状に取り巻く地域、特に環状6号線、7号線沿いの木造密集市街地の焼失が顕著に示されています。火気器具や電熱器具の使用率が高い冬の夕方6時、風速15m/s(関東大震災並み)とした場合、焼失棟数は約65万棟。まさに、想像を絶する数字といえるでしょう。

ALCパネルの耐火性はすでに広く認められるところで。阪神・淡路大震災ではそのとき発生した大火のなかにあってALC建築は焼け残り、防火壁となって延焼を食い止める役割を果たした例が多数見られました。下の写真はその一例です。

巨大地震が“いつ起きてもおかしくない”とは、心穏やかではありませんが、できる限りの備えをすることで“減災”は可能です。延焼を防ぐために、ALCパネルは心強い備えとなります。



周囲が焼失したにもかかわらず焼け残ったALC建築。注目されるのは二つのALC建築にはさまれた木造家屋が焼失をまぬがれたこと。(阪神・淡路大震災)

ALCpanels リサイクル

役目を終えても
様々な再利用されています

ALC協会加盟のメーカー3社は広域認定制度のもと、新・改築現場で発生する端材を回収し、ALCパネルの原料の一部として再利用しています。2011年度の回収実績は3社合計で約1,800トンでした。また、広域認定制度の対象外ですが、解体現場で発生するALC廃材も中間処理場を経て、再生路盤材、屋上緑化材、調湿材、土壌改良材などに再利用されています。

ALC協会発行の『ALC廃棄物の適正な処理のために』には、広域認定制度での手続きの方法やALCパネルメーカーが行っているリサイクルの方法などが紹介されています。

▼詳しくはこちらへ。

<http://www.alc.gr.jp/publication.html>



Yoko's eye

《編集メモ》

約20年振りに“ビルの高さ”日本記録を更新した「あべのハルカス」。でも世界を見れば150番目程度です。トップはUAEドバイにある「ブルジュ・ハリファ」828mで、「あべのハルカス」の2倍をはるかに超えています。これに限らず、ドバイには“世界一”がいっぱいあって、人工島、ショッピングモール、屋内スキー場、テーマパーク、噴水、救急車…etc. “世界一”の冠がつくと確かにインパクトがありますが、こんなに並んでいると、なんだかなあって思ってしまう。

記録は破られるためにある。「ブルジュ・ハリファ」もしかり。クウェートやバーレーンでは1,000m超えの超々高層ビルの建設計画が進められているとか。日本だって事情が許せば可能なのですが、現実には高さを競うより、耐震とかエコとか、もっと別なところに重きが置かれているのですね。

実は私もALCパネルをたくさん使っている超高層マンションの住人です。40階建ての真ん中あたりなので見晴らしは抜群。たまにやってくる母はベランダへ出るのも恐る恐るですが、地震に対する不安はありません。だって、外壁はALCパネルですから!!

人に
街に
地球にやさしい建材 ALC協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-24-4 9STAGE kanda
Tel.03-5256-0432 Fax.03-5256-0431

URL:www.alc.gr.jp